

2025年3月28日

専門学校 川崎リハビリテーション学院

学院長 花山 耕三 殿

学校関係者評価委員会

委員長 宮崎 彰子

学校関係者評価委員会 報告

2024年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ①宮崎 彰子（川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 療法士長）
- ②杉 優子（川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 主任理学療法士）
- ③谷口 恵美（川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター 主任作業療法士）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第9回委員会 2025年3月27日（会場 リハビリテーション学院 会議室）

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

(別紙)

1 専任教員の配置状況について

理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数は適正である。また、関連領域を教授できる医師等の専門家が非常勤講師として配置されている。

教育内容（講義）は、理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン（以下、養成施設指導ガイドライン）に準拠して、専任教員と医師等の非常勤講師が分担しそれぞれの専門を生かして教授している。

専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が法人内の附属病院で臨床に携わることで治療技術の研鑽に努めている。

2 養成施設指導ガイドラインとカリキュラムの連動状況について

養成施設指導ガイドラインに基づき、教育カリキュラムは体系的に編成されている。講義内容の学生への周知は学院のHPで公開しているシラバスで行われている。シラバスにはすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法が明記されている。

3 臨床実習の内容と実施状況について

1年次・2年次に附属病院で実施する実習は、講義との連動を考慮して設定されている。3年次の臨床実習は、養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習が実施されている。附属病院が養成施設指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設となっている。1年次・2年次の病院での実習が附属病院で行われており、3年次にも一定数の学生が臨床実習を行っている。

3年次の臨床実習は、臨床実習指導講習会を受講した指導者の下で実習が実施されている。臨床実習におけるハラスメント防止のための体制を有している。

4 自己点検・評価の体制について

学院内の自己評価・第三者評価委員会で自己点検および自己評価を実施する体制があり、改善に向けて機能している。シラバスの内容は教務委員会を中心に内容が検討され、カリキュラムの改善が行われている。

自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みも教務委員会と自己評価・第三者評価委員会を中心に行われ、教育活動を高い水準に保つ努力が行われている。